



挨拶を述べる森田市長

## 新年名刺交換会 開かれる

恒例の「新年名刺交換会」が一月一日、市民文化会館で約二百人が参加して開かれました。

この名刺交換会は、市、商工会議所、農協懇談会が共催で開いているもので、参加した人達が新年を祝うとともに、交流と親睦を図

ることを目的としたものです。

この日、森田市長は「来るべき二十一世紀を西北津軽の時代につくり上げるための飛躍の年として、奉仕と信頼の市政を貫き、五万市民の期待にこたえて参りたい」と新年にあたって挨拶

方とじこんでください。後できつとお役に立ちます。

## 市消防団が出初式

市消防団(前田堅団長)の出初式が1月5日、観閲者である森田市長をはじめ来賓、消防団員、消防署員など約750人と車両29台が参加し、一ツ谷を中心に行われました。

式典に先立ち、人員服装と機械器具の点検が行われ、その後市役所前お祭り広場まで分列行進をしました。

式典では、第一分団によるマツイ振りの披露と優秀分団に対する表彰などが行われた後、森田市長が「今後さらに消防の職責の重大性を自覚され、一層の成果を挙げ、住民の生命財産を守るという市民の信託に応えられるよう期待します」と講評を述べました。



堂々の分列行進を行う消防団員

を述べました。元日は、小雪がばらついたものの穏やかな天気となり、参加した人達も和やかに

なムードで挨拶を交わし、新年のスタートを切りました。

昭和61年

No.607

1 - 15

## 市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

わたくしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたくしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協調し、郷土の限らない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切に、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

# 成人おめでとろう

## 565人が大人の仲間入り

市では、二十歳を迎えた人達をお祝いするための成人式を一月三日、中央公民館で開催し、新成人としての門出を祝いました。

この成人式は、昭和四十五年以來夏に開いてきたものを、除雪技術の進歩など

から一月に変更したもので、今回、市で成人を迎えた人は五六五人(男二五一人、女三一四人)で、このうち成人式に出席した人は三四人(男二七人、女二二人)です。

式では、森田市長が「二十一世紀は皆さんの世紀です。成人となった感激を忘れることなく、皆さんの手でまちづくり、国づくりをなし遂げてください」と式辞を述べました。

引き続き笹谷靖さん(栄町)、新岡代志子さん(松島町)の二人が「社会人として自覚し、自己の責任をしっかりと果たしていき

い」とはたちの主張を発表。その後、川浪直治市議会議長と太田勇人市青年団協議会長がお祝いのことばを述べました。

最後に、新成人を代表して秋田幸保さん(敷島町)が「不撓不屈の五所川原魂をもって今日の五所川原市を築き上げた先人の心を継承し、あすの明るく豊かな地域づくりの原動力となれるよう努力します」と誓いのことばを述べ、式を終わりました。

なお、市では式に出席された新成人に、記念としてアルバムを贈りました。



式辞を述べる森田市長



21世紀を担う20歳の若者達

# 成人の自覚を行動に

### はたちになったら国民年金

は次のとおりです。

- 当然加入の人
  - ▼ 農林・漁業、自営業、自由業などを営む給与所得者以外の人
  - ▼ 無職の人(二十歳以上五十九歳までの方)
  - ▼ 厚生年金に加入していないサラリーマン(給与所得者)
  - ▼ サラリーマンの妻(専業主婦で、二十歳以上五十九歳までの方)
  - 任意加入の人
    - ▼ 昼間部の学生

## 加入手続きは市役所で

国民年金には、当然加入と任意加入があり、加入者

手続きは、市役所でできます。はたちになったら国民年金の手続きを忘れずに。

## あなたの心を伝えよう

# 「はたちの献血」キャンペーン

今年で第十回を迎える、「はたちの献血」キャンペーン。(社)日本民間放送連盟(民放連)主催で、はたちの人を中心に、献血の輪を

広げるイベントです。ラジオとジョイントし、地域社会での献血運動が一月十三日から三月十三日まで繰り広げられます。



### 責任感のある社会人に

津軽東芝音響機勤務

渋谷 雅彦

(幾世森)

高校を卒業して現在の会社に就職したての頃は、不安な事ばかりでした。

人間関係も学生時代とは違って、社会人になってからは幅広い年代との付き合いで細かい気づかいも多く、仕事の上でもわからないことがいっぱいで大変でした。しかし、今では会社の雰囲気にも慣れ、仕事も覚えました。

私の会社は、ラジカセ等音響機器を造っています。私は、お客様に安心を買って頂ける製品づくりをするためのQC(品質管理)マンを担当し、毎日情熱を燃やしている現在です。

これからは、20歳を契機に、先輩達の模倣でなく更に勉強し、後輩に胸をはれるような責任感のある本物の社会人になりたいと思います。



### 成人になって

青森職業訓練短期大学校学生

山本 習

(飯 詰)

私は約1年前、北海道からここ青森県五所川原市の青森職訓短大に入学し、今学生寮におります。入学当時は18歳でしたがまったくの子供で、自分の将来のことなど真剣に考えてみませんでしたが、学校での勉学生活を通して、自分なりに自分の将来について考えるようになったと思います。特に20歳になったということは、ただ酒が飲める、タバコが吸えるということだけでなく、社会人として自分に責任を持つということだと思います。このことを自分のこれからの人生で大切にしていきたいと思っています。

20歳をこの学校で迎えたこと、またこの学校での多くの体験は、卒業後も一生忘れないと思います。

## わたしの抱負



### 社会に貢献したい

青森ファッション機勤務

春藤 カツ子

(下平井町)

高校を卒業し、何も知らない社会へ出て2年間、周囲の人達に助けられながら、どう

にかここまでやってこれた気がします。そして、対人関係の難しさ、チームワークの大切さを強く感じ、働くということの意味を深く考えさせられました。

20歳になった今、私達には10代では認められなかった色々な権利や自由が認められたわけです。

しかし、これと同時にその裏づけとしての責任も負わされるわけです。成人の仲間入りをした今後は、あらゆる面において成人としての自覚をもち、自分の行動や発言一つひとつを慎重にしていきたいと思っています。また、自分の生き方に誇りと責任をもち、10代に学んだことを土台として、会社のより一層の繁栄に協力し、社会に貢献できるように頑張りたいと思います。



### 充実した社会生活を

日立東部セミコンダクタ株

津軽工場勤務

小坂 洋樹

(水野尾)

私は高校卒業後、直ぐ会社勤めをし社会人となりました。

初めの間は社会人になった実感がなく、学校生活の延長にすぎない感じでした。

しかし、社会に出てみると対人関係も変わり、色々な人達との出会いがありました。そして、この2年間自分として、これではいけないと思うようになりました。

例えば、会社の仕事でミスをする、その結果は直接あるいは間接に多くの人に影響を及ぼします。ちょっとした失敗が、会社に大きな損害を与えることもあります。

これからは、一人の独立した人間としてみられるので、もっと自分の行動に責任を持つ必要があります。また、社会における個人の役割を学びながら、より一層充実した社会生活を送っていききたいと思う。

## 成人式のスナップ



# 半島振興地域の 指定を目ざす

## 対策促進協を発足

半島振興法に基づく振興地域の指定促進を図る「津軽半島振興対策促進協議会」が十二月二十三日、大町のレストラン藤吉郎で、西北五と東郡五町村が結集して発足、指定獲得に向けて強力に陳情していくことになりました。

同協議会の結成会議には、



津軽半島振興対策促進協議会結成会議

西北五と東郡の五町村の市町村長など約三十人が出席。発起人で津軽西北五地域広域市町村圏協議会長である森田市市長は、「津軽半島に活力を取り戻すために、この機会を逃すことなく、津軽西北五と東郡が一致団結し、総力を結集して津軽半島の指定を獲得しよう」

とあいさつを述べました。設立総会では、森田市市長を会長に選んだ後、六十年一度事業計画として、①県、

国や国会議員に対する強力な陳情活動 ②県の半島振興計画策定に対し、積極的な協力をし地域住民の生活上を向上を図ることを満場一致で決めました。

「半島振興法」は、交通網の整備や産業開発が遅れている半島地域を対象に、地方債の優先発行や補助金のかさ上げ、誘致企業に対する地方税の減免措置などによって、開発を促進させるのが目的で昨年六月に成立。十年間の期限をつけた時限立法で、同法に基づく「半島振興対策実施地域」に指定されると、地域振興にあたって大変有利な条件となります。

本県では、津軽と下北の両半島が指定基準を満たしており、県では両半島の地域指定申請を同時に行う予定です。しかし、国土庁は第一次の指定地域を十か所程度に絞り込む考えで、津軽と下北の両半島が指定を受けられるとは限らないため、同協議会では、指定獲得を目ざして積極的に運動を展開していく方針です。

# 手づくりのゴミ集積所で 住みよい環境づくり

## 三好地区



三好地区のゴミ集積所

三好地区では、このほど住民が経費と労力を出しあってゴミの散乱しない「ゴミ集積所」をつくり、住みよい環境づくりに役立てています。

これは、同地区が今年度農林水産省の生活環境改善モデル展示事業の指定を受けて、住民協議会を開いて地区の生活環境の問題点を話しあ

いました。その結果、従来のゴミ集積所では、置かれたゴミが強風や野犬のために散乱することから、これを改善することに決定。

地区内十八か所に、木造で屋根と床がトタン張り、外側に青ペンキを塗った床面積が三平方メートル位のゴミ集積所を、また四十八か所にボイ捨てを防止するための金網製のゴミ入れをそれぞれ設置するとともに、ゴミ集積所には清掃用のほうき、ちり取り、パケツなども備え付けました。

経費は、国、市からの補助金と地区住民の負担金合わせて百四十万円ですが、ゴミ集積所は設置に要した材料以外は、すべて住民が労力を出しあい手づくりしたものです。また住民協議会でも「ゴミ箱管理運営規程」をつくり、住民が自ら管理することになっています。

住民協議会の開会会長は、「これが設置されてからは、ゴミを捨てる時間も守られるようになり、ゴミについての苦情もなくなっただけで、今回が最初の冬なので、雪による影響を心配している」と語っていました。

# 助産婦・ 看護婦募集

- ▷ 募集人員 若干名
- ▷ 資格 助産婦・看護婦免許のある人、又は、61年3月に養成機関卒業見込みの人で、昭和31年4月2日以降に生れた人
- ▷ 応募締切 1月25日(土)
- ▷ 選考方法 書類審査、作文、面接及び健康診断の結果により決定します。
- ▷ 書類提出先及び問い合わせ先 市立西北中央病院管理課庶務係 ☎353111 (内線279)

# 親しまれる名称を

## 募集します!!

### 水緑都市モデル地区

市が現在、新町・布屋町地区に整備を進めている「水緑都市モデル地区整備事業」が、いよいよ年内に完成するはこびとなりました。市では、この小公園が市民の皆さんから親しまれ、愛されるようその名称を募集します。たくさんのご応募をお待ちしています。

本市は、昭和五十八年に国土庁の「水緑都市モデル地区整備事業」の指定を受けました。

この事業は、本市の歴史的・地理的条件等の特性を生きしながら、水と緑の豊

かな空間をつくり、「堰の再生、都市の再生」を基本理念として、北国の風土にふさわしい都市づくりを進めるものです。

市では、昭和五十八年度にこの事業計画を立て、翌

年度から「新町・布屋町地区」の一部を三か年計画で整備を進めてきました。

この施設は、面積が約二三〇〇平方メートル、そこには野外ステージのあるイベント広場、メロディー欄かん

のある太鼓橋、屋内ギャラリー、子供広場などが配置されています。さらに水路、生垣、樹木等によって囲まれた複数の小さな広場をポケット的に設け、ベンチやテーブルを配するなど、ゆつくりとくつろげる場所となっています。

#### 応募要領

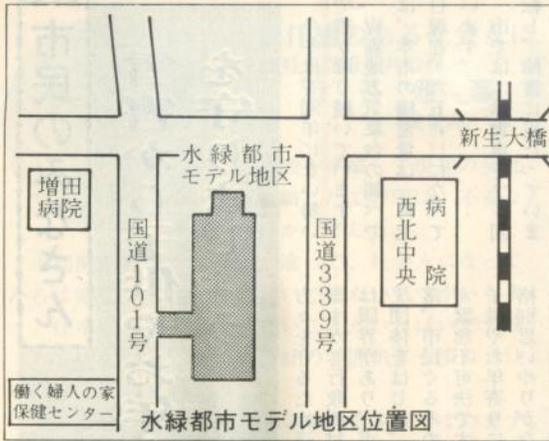
▽応募資格 本年一月一日現在五所川原市に住所をもっている人

▽応募方法 官製ハガキに「名称(簡単にその理由などもつけて)」、住所、氏名、年令、性別、電話番号をご記入のうえ、市秘書企画課・名称募集係までお送りください。(ハガキ一枚につき一案。お一人何枚でも可)

▽応募締切 二月二十日(当日消印有効)

▽発表 四月一日号の市広報に掲載します(予定)。また、入賞作品(特選一点、入選三点、佳作六点)の応募者には記念品を贈呈します。

これについてのお問い合わせは、市秘書企画課(☎35)二二二番 内線三二八・三一九番)へどうぞ。



水緑都市モデル地区位置図



水緑都市モデル地区事業計画図

# 南小見事優勝果たす!!

## 全日本卓球・ホープス選手権大会・ミニ男女

昨年十二月二十二日、東京・駒沢屋内球技場で開かれた全日本卓球選手権大会二日目のホープスミニ(小学校低学年)で、南小学校(会津正治校長・児童数六八一人)の神健介さん(三年)と齋藤五月さん(二年)が優勝、古川史子さん(三年)が三位に入賞しました。また、このほか工藤さくらさん(三年)、田中幸佐

さん(三年)の二人がベストエイトに入りました。神さん達は翌二十三日、会津校長や監督の寺田昭郎教諭などと共に市役所を訪れ、森田市長に報告しました。

森田市長(中央)を囲んで、左から寺田監督、会津校長、古川史子さん。前列右から神健介さん、齋藤五月さん。



寺田監督が、森田市長に三人をそれぞれ紹介した後、森田市長が「南小の皆さん、良く頑張ってください。本当におめでとう。これからも一生懸命スポーツと勉強に励んでください」と称えると、三人は思わずニッコリ。首にさげたメダルを何回も見つめ直していました。

# 市民のみなさん

## 雪害から子供やお年寄りを守りましょう

今冬は、例年にない勢いで雪が降り続けています。青森地方気象台の調べでは、本市の積雪量は一月七日現在、六五センチに達しています。

市では、除雪車をフル回転し、除雪に当たっていますが、これからの厳冬期にはますます雪の量が増え、道路幅の確保が困難になることが予想されます。また、屋根の雪おろし中の転落事故や落雪による事故の多発も予想されます。

昨年の二月には、不幸にして本市でも、八〇歳のおばあさんが屋根からの落雪の下敷きになり死亡するという、雪の犠牲者がでています。

雪は、まだこれからが本番であり、春が来るまでは決して油断はできません。

市と市社会福祉協議会などでは、ひとり暮らしの老人家庭や恵まれない家庭の



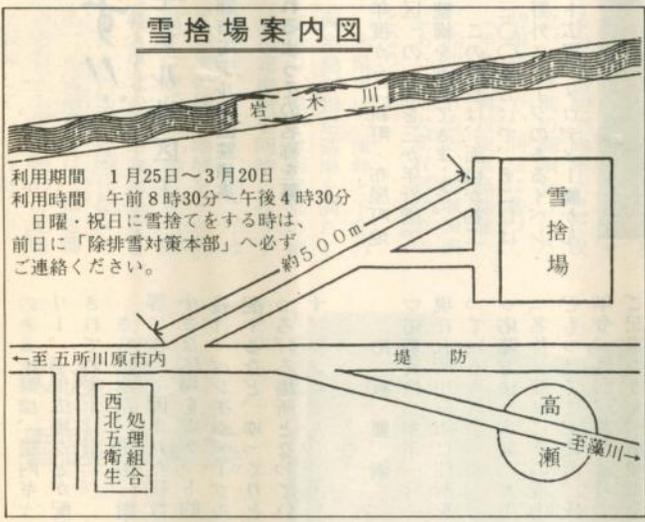
方々を守るため巡回していますが、行政の対応だけでは限界があり、ボランティア団体をはじめ、町内、部落、市民ぐるみの助け合いが緊急不可欠です。特に、子供やお年寄りに対しては、格別思いやりがなされなければなりません。

五万市民総ぐるみで雪の災害から尊い人命を守りましょう。

## 除排雪作業についてのお願い

- 市では、通勤通学等の生活道路の確保に全力をあげていますが、市民の皆さんへ次の事項をご協力ください。ようお願いいたします。
- ① 道路には絶対雪を捨てない
  - ② 路上駐車はしない
  - ③ 除排雪作業中は危険ですから近寄らない
  - ④ 自動販売機などを道路にはみ出さない
  - ⑤ 雪を捨てるときは、市が指定している「高瀬雪捨て場」(図参照)をご利用ください。
- 除排雪についてのお問い合わせは、市除排雪対策本部(☎35四三二一・四三二二番 広田字柳沼三々一)へどうぞ。

### 雪捨て場案内図



## 水道管の凍結にご注意を

これから、日毎に寒さが厳しくなり厳寒期にはいると、水道管の凍結や破裂事故がおきます。とくに気温がマイナス摂氏四度以下になると、防寒等の不完全なものは凍結したり、破裂することがありますので、次のことに注意してください。

- ▽水抜栓・不凍栓を備え付けの場合
  - 長い間家を空けるようなときや、就寝前には必ず水抜栓・不凍栓のハンドルをしっかり止まるまで閉め、蛇口を一杯に開いてください。
- ▽電熱ヒーター利用の場合
  - ネズミの害を防ぐため、立ち上がり部分をボックスで囲むようにしてください。
  - ▽むき出しの管や、屋外に蛇口がある場合

これから、日毎に寒さが厳しくなり厳寒期にはいると、水道管の凍結や破裂事故がおきます。とくに気温がマイナス摂氏四度以下になると、防寒等の不完全なものは凍結したり、破裂することがありますので、次のことに注意してください。

- ▽凍結防止の放水はやめてください
  - 凍結防止のため水を出しっぱなしにすると、メーターが次第に上がり、春の検針精算の際、料金にハネ返り思わぬ支出となりますので、放水はやめてください。

(市水道事業所)



**県立母子福祉センター(白百合荘)のご利用を**  
 青森市石江

母子家庭の経済的自立と生活の安定向上を図るために、各種の相談等を行っています。お気軽にどうぞ。

- ① 母子家庭や寡婦の身上相談、事業経営や内職、または就職、結婚等についての相談
- ② 技能修得のための利用(和裁、洋裁、編物手芸、タイプ、速記)

詳しいことは、市福祉事務所児童係(☎352111番 内線243番)へどうぞ。

# 恵まれない人達にと 6万6千余円寄付

## — 聖心幼稚園 —

恵まれない人達にと末広町の聖心幼稚園(モーリ・



平山会長に渡される白戸祐吾ちゃん(右)と古川亜希ちゃん(中央)

ラベ園長)では十二月二十一日、市社会福祉協議会に六万六千二百一十円寄付されました。

これは、同園のクリスマス会で園児達が献金したもので、同園ではこれまで毎年寄付をしてきています。この日は、園児を代表して白戸祐吾ちゃん(6)と古川亜希ちゃん(6)が、平山誠敏会長に手渡されました。

# 歳末助け合いに5万余円寄付

## — 東信金庫合同貯金会 —

東奥信用金庫五所川原支店の合同貯金会(葛西専造代表)では十二月十九日、



森田市長に目録を渡される葛西代表(左)と永井支店長(中央)

市役所を訪れ、恵まれない人達のために役立ててくださるとして五万九千五百円を寄付された。これは、同会が先に行った忘年パーティでの募金を寄付されたもので、市では、これを社会福祉協議会の善意銀行に預託しました。また、同会からの寄付はこれで三回目となり、大変感謝されています。

# 教育振興会に 5万円寄付

## — 国際ソロブチミスト —

国際ソロブチミスト五所川原クラブ(高満タカ代表)では十二月十四日、教育振興会に五万円を寄付、鈴木教育長に手渡されました。

このお金は、同会が先に行ったチャリティダンスパーティの益金から寄せたもので、今回で二回目となりました。

# おむつ100枚寄贈

毘沙門地区婦人会(福岡貞代表)では十二月二十一日、寝たきりのお年寄りなどに差し上げてくださるとおむつ百枚を市社会福祉協議会に寄贈されました。



歳末たすけあい運動

# 県立弘前高校通信制 課程の生徒募集

県立弘前高等学校通信制では、六十一年度の入学生を募集しています。

自宅と日曜スクーリング(昼間)で学習しながらリポートを作成し、規定の単位を修得しますと高等学校卒業の資格が得られます。職業や年齢に関係なく学べます。また、希望する科目だけを学ぶこともできます。

入学願書、入学案内は一〇〇円切手を同封し、左記へ請求してください。

▽出願期間 三月四日〜四月八日。  
なお、就学前の子供さんのための託児室も設けております。その他、学習の仕方など詳しいことを知りたい方は左記へご連絡ください。

(☎〇三六) 弘前市新寺町一番地、県立弘前高等学校通信制(☎〇一七二) 九四二(四番)



### 昭和61年度 合同除厄祈願祭のご案内

▽対象者 男(昭和20年4月2日〜昭和21年4月1日生まれの方)  
女(昭和29年4月2日〜昭和30年4月1日生まれの方)

▽日時 2月16日(日) 午後1時から

▽場所 中央公民館(駅裏)

▽会費 男 11,000円 女 9,000円

▽申込受付 1月20日(明)から2月5日(木)まで

○申込先 会費をそえて事務局までお願いします。  
実行委員会委員長 工藤 善己

事務局 (市役所352111代)

土地改良課	高橋 泰海 (内線 220)
土地改良課	工藤 純子 (内線 220)
市民相談室	盛 いく子 (内線 282)
財政課(分室)	工藤 晃 (内線 357)
福祉事務所	小田桐洋子 (内線 286)
水道事業所	須郷 俊彦 (内線 262)
中央公民館	原 慶之 35-6056

### スキー大会

◇第28回市民スキー大会  
期日 2月2日(日)

◇第4回西北五ジャイアントスラローム神山大大会  
期日 2月23日(日)

◇第7回西北スポーツ杯市内ジュニアアルペン大会  
期日 3月2日(日)

会場は、いずれも「神山スキー場」です。  
なお、種目など詳しいことはスキー協会事務局(西北スポーツ内 ☎357845番 布屋町)へどうぞ。

### 自衛官募集連絡 事務所移転

お知らせ

これまで、市内末広町にありました事務所が、12月10日から下記に移転しました。

▷事務所 市内栄町34番地 ☎352305

自衛官についてのお問い合わせは、青森地方連絡部五所川原募集事務所へご連絡ください。

# 工事指名競争入札業者と 物品等供給業者の登録受付

市では、六十一年度に市が発注する工事の入札に参加を希望する建設業者、市の施設等(市役所、西北中央病院、市内各小中学校、給食センター等)への物品供給を希望する業者を受付けますので、手続きをしてください。

▽受付期間 二月一日～二月二十八日

▽受付場所 市財政課契約調達係(市庁舎四階)

### ▽提出書類

- 工事指名競争入札業者
- ①建設省統一様式(一式)
  - ②添付書類
- 物品等供給業者
- ①入札参加資格申請書一式(申請書用紙は財政課にあります)
  - ②詳しいことは、市財政課契約調達係(☎352111番 内線三三〇番)へどうぞ。
- (イ)経営事項審査申請書  
(ロ)建設業者許可証明書  
(ハ)納税証明書 市税は六十年度分、国税及び県税は五十九年度分  
(ニ)使用印鑑届  
(ホ)建設業退職共済組合加入証明書  
※建設業者の経営に関する

## 乳幼児の健康診査

- ▷場所 市保健センター
  - ▷受付時間 午後1時～1時30分
  - ▷持参するもの 母子健康手帳、バスタオル
  - ※注意 6か月児の健康相談では、神経芽細胞腫(小児がん)の検査セットを配布しますので、必ずおいでくださるようお願いいたします。
- なお、病気療養中のお子さんについては、ご遠慮くださるようお願いいたします。

月	齢	対象児	期日	内容
3	か月児	60年10月生	2月12日(水)	健康診査
6	か月児	60年7月生	2月18日(火)	健康相談
1	歳児	60年1月生	2月24日(月)	健康相談
1	歳6か月児	59年8月生	2月25日(火)	健康診査

▷問い合わせ先 市衛生課 (☎352111番 内線 268・272番) へどうぞ。

### 保育所の入所 申請はお早めに

(61年4月入所)

- ▽申請先 市福祉事務所
- 児童係(☎352111番 内線二四三番)

### ▽持参するもの

- 健康保険の健康保険証・印鑑
- 昭和六十年分の源泉徴収票(給与所得者のみ)
- ※障害児(軽度・中度)の入所も可能です。ご相談ください。

## 駅東部地区土地 画整理審議会委員 選挙のお知らせ

駅東部地区土地画整理審議会委員の選挙を、次の要領で実施します。

▽選挙期日 二月十一日

▽立候補の届出期間 一月二十三日から二月一日まで。(午前八時三十分から午後四時四十五分まで。)

▽問い合わせ先 市都市建設課 (☎352111番 内線二三五番)

## 俳句

五所川原俳句会提供

木ささげの垂るる実一つ薬師講  
太鼓橋成りて梵珠の山眠る  
風垣より首長うしてバスター待り  
鬼灯を鳴らせぬ母となりけり  
木と紙の家の裏から冬が来る

増田木亘子  
三上北人  
鳴瀬牛角  
葛西正則  
成田千空

### たばこは、市内から 買いましょう

マイルドセブン1箱(200円)につき、35円60銭がたばこ消費税として市の収入になります。

### 休日・夜間の急病は

在宅医師の紹介は  
消防署  
☎3521019番  
(救急医療部)

## 公開講座開催

- ▷日時 昭和61年1月22日(水) 午後1時～4時
- ▷場所 青森職業訓練短期大学校
- ▷講師及び講演テーマ

「プログラミング言語の歴史と展望」  
八戸工業大学 工学部 助教授  
工学博士 大川 知

「ニューメディアと高度情報社会」  
岩手大学 工学部 教授  
工学博士 太田原 功